**2024年10月改定_第3版（住所表記変更）
2019年9月24日作成

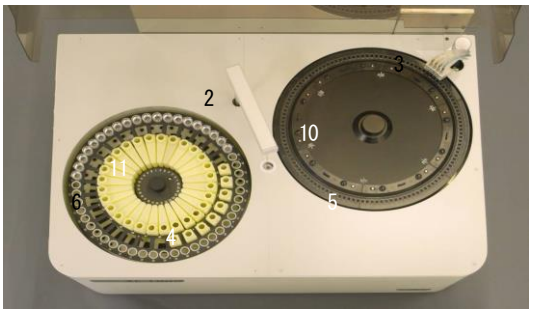
届出番号：11B2X10046000009

機械器具１７血液検査用器具　ディスクリート方式臨床化学自動分析装置(35743010)　一般医療機器　特定保守管理医療機器

生化学自動分析装置　ＡＥ－１０００

【禁忌・禁止】
お客様が本装置の外装を弊社に無断で外し、装置の内部に手を触れると、感電の危険があります。取扱説明書で指定されている保守・点検箇所や部品交換箇所以外は手を触れないで下さい。

【形状・構造及び原理等】



1. 本体開閉カバー
2. 試薬/サンプル分注/攪拌アーム
3. キュベット洗浄アーム
4. サンプルカップ
5. キュベット
6. 試薬ボトル
7. ＲＳ－２３２Ｃコネクター
8. 冷却ファン
9. 電源スイッチ
10. セルディスク
11. 試薬･検体ディスク

●定格電圧　：AC110V/220V±10%
●周波数　：50/60Hz
●電源入力　：80VA
●寸法(mm)　：740(幅)×480(高さ)×570(奥行き)±7mm
●重量　：46±1kg/net
●干渉ﾌｨﾙﾀ波長　：340, 405, 450, 510, 546, 576, 630, 700nm
●ﾌｨﾙﾀ波長幅　：10nm(1/2T%)
●試料槽　：角型セル
　容量　500μℓ
●測定モード　：Ａｂｓ, エンドポイント、カイネテック
　２点測定法
●測光方式　：1波長及び2波長測光
●吸光度測定範囲：0～2.5Abs
●試料設定量　：0～100μℓ
●測定項目記憶　：PC HDDに保存
●温度精度　：±0.1℃（３７℃）
●包装　：1台／箱

【使用目的又は効果】
元来の方法を大きく変えずに、用手法による臨床化学分析法を着実に自動化した装置で、測定は個別のキュベットで行われ、ターンテーブルで運ばれる途中に各ステーションで試料・希釈液及び試薬が調合される。　混合発色のための時間が考慮されており、その後に内蔵されているフィルタ光度計で反応混合物の吸光度を測定する装置。診断及び研究を使用用途とする。

【使用方法等】
(1) 測定前の操作
①試薬の量が充分にあるか、また廃液が溜まっていないかを確認して下さい。
②装置本体とパソコンの電源を投入し、専用操作ソフトを立ち上げ、必要な項目を設定して下さい。
(2) 測定操作
①検体をセットします。
②本体開閉カバーを閉めます。
③検体をセットした位置、測定する項目をパソコンで指定し、測定を開始します。

【使用上の注意】
(1) 本体内部にネジや硬貨などの異物を入れると故障の原因となります。
(2) 試薬など液体の入った容器を本体上に置かないでください。
(3) 直射日光の当たる場所、流し台の付近など水のかかるような場所は避けて設置してください。
(4) 塩素ガスなどの腐食性ガスの発生する危険性のない場所に設置してください。
(5) 振動のない、水平で安定した台に設置してください。
(6) スイッチ類、パソコンの操作は手順に従って操作して下さい。測定中にむやみにキー操作をすると誤動作の原因になります。
(7) 検体の取扱いには充分ご注意下さい。

取扱説明書を必ずご覧ください。

【保管方法及び有効期間等】

使用耐用年数：指定した保守点検を実施した場合に７年
使用環境条件：温度：10～30℃
　　湿度：30～80%

【保守・点検に係わる事項】

⑴ 装置本体の汚れはやわらかい布または水を少し含ませた布で拭いてください。
⑵ 測定値が安定しなくなった時は光源ランプを交換して下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者　：　エルマ販売株式会社
住　　所　：　〒342-0045
　　埼玉県吉川市木売３丁目４番地８（**）
電話番号　：　048-984-3138

製造業者　：　株式会社東海電子研究所
住　　所　：　〒207-0003
　　東京都東大和市狭山5-1557-20
電話番号　：　042-563-0035

取扱説明書を必ずご覧ください。